

# 精魂込めて



～ イケイケドンドン！ ～

夏休みが終わり、2学期が始まってから雨の日が続いていました。そのため体育祭練習が思うように進まず、生徒の皆さんも先生方も、もどかしい思いをしていたことと思います。そんな中、本日はようやく全校生徒がグラウンドに集まり、体育祭の全校練習を行うことができました。響く応援の声、仲間同士で励まし合う姿を見て、「いよいよ体育祭が始まるな」と胸が高まりました。

体育祭スローガンは、「イケイケドンドン ～勢いのまま勝利につき進め～」です。この言葉は、生徒たち自身が考え、選び出した言葉です。私は、このスローガンを単に「勢いで進もう」という意味だけとは捉えていません。

大きな声で仲間を応援すること。自分の役割に責任をもって取り組むこと。失敗を恐れず挑戦すること。そして、「やってみよう」と一歩前へ踏み出すこと。実は、そのどれもが中学生にとっては勇気のいることです。しかし、仲間がいるからこそ、その勇気を出すことができます。一人の勇気が仲間へ伝わり、その勇気が学年へ伝わり、やがて学校全体の大きな力となっていきます。それこそが、「イケイケドンドン」の本当の姿ではないでしょうか。

時には恥ずかしかったり、不安になったりすることもあります。しかし、その一歩を踏み出した仲間がいるからこそ、学級がまとまり、学年が成長し、学校全体が活気づいていきます。仲間を信じ、自分を信じて前へ進む。その姿こそ、本校が大切にしている「共に生き合い、いのち輝かせる」姿そのものだと思います。

体育祭で見られる協力や努力は、突然生まれるものではありません。1学期の日々の授業や係活動、部活動など、毎日の積み重ねがあってこそその姿です。そして体育祭で得た経験は、その後の合唱コンクールや生徒会活動、さまざまな学校行事や日々の学校生活へとつながっていくことでしょう。

さて、私自身も2学期から3年生の理科の授業を担当しています。先日は記録タイマーを用いて運動の様子を調べる実験を行いました。正直なところ、Chromebookを活用した授業については、私もまだまだ勉強中です。そのため、実際の器具や実物を使いながら説明する場面も多くあります。それでも、3年生の皆さんが温かく授業に参加し、一緒に学びをつくらせてくれていることを大変うれしく思っています。もしかすると、私だけが「楽しい授業だ」と感じているのかもしれませんが、生徒の皆さんと学ぶ時間は本当に楽しいです。

私たち教職員もまた、日々挑戦し、学び続けています。体育祭でも授業でも大切なのは、「やってみよう」と一歩前へ踏み出すことです。生徒も教師も共に学び、共に成長する2学期にしていきたいと思っています。

イケイケドンドン！その勢いを大切にしながら、一人一人が輝く2学期となることを楽しみにしています。